

歯科 摂食嚥下機能評価実施対象となった当院に入院されている患者さんへ
「精神科入院患者における口腔内環境および嚥下機能に関する観察研究」
へのご協力をお願い

(1)研究の概要について

精神疾患患者では、疾患そのものによる症状や内服薬の副作用や精神状態による意欲の低下や喫煙などの生活背景など多面的な要因から口腔環境が不良になりやすいことや口腔や嚥下機能が低下しやすいと報告されています。特に嚥下障害においては、その後の栄養状態の低下、誤嚥性肺炎、窒息事故、死亡のリスクが高いとされます。さらに、そうした入院患者に対して、歯科が介入することで、栄養摂取状況を改善したり、生活の質（Quality of Life, QOL）が向上するという報告も散見されています。しかし、精神科に入院されている患者さんへの口腔・嚥下機能を合わせた口腔環境の実態についての報告は乏しいのも現状です。

なお本研究は、高月病院の協力を受け、東京科学大学で実施されます。本研究の実施にあたっては、東京科学大学歯学系倫理審査委員会承認を受け、期間の長の実施許可を得ております。

研究責任者：東京科学大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野 戸原 玄
承認番号：D2020-074

(2)対象と研究実施期間

調査の対象となるのは、研究実施許可日～2029年3月31日までに主治医より歯科に摂食嚥下機能評価依頼となった、医療法人社団東京愛成会 高月病院入院患者さんの情報です。調査を行う期間は東京科学大学歯学系倫理審査委員会承認後から5年間とし、3年毎に延長申請を行います。

(3)調査方法

本研究は、令和2年3月以降に歯科に摂食嚥下機能評価依頼となった入院患者の診療記録およびカンファレンス記録を見せて頂きます。

主な情報収集項目：性別、年齢、入院前の居住形態、社会福祉的支援の有無、
原因疾患、併存疾患、摂食嚥下機能評価依頼理由、血液検査値、
尿検査値、画像検査結果、身体測定値、リハビリの状態、
せん妄の有無、口腔機能・摂食嚥下機能 等。

本研究で得られたデータは、精神科入院中の患者様へ適切な口腔健康管理方法の検証のため、健常者データと比較し、より効果的な管理方法の在り方を検討いたします。

(4)研究へのご協力あたって

この研究は、過去の検査結果のみを利用しますので、書面による同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施されます。

ご自分の診察結果や検査の結果がこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。今回のお願いに対して同意をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めて下さい。同意しないからといって、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。

(5)研究成果の公表について

研究成果を論文等により公表致します。公開内容は個人のプライバシーに関することは一切含みません。

(6)費用について

この研究に参加されることによって、あなたが費用を負担することは、一切ありません。また参加されることに対する謝礼はありません。

(7)収集した情報について

みなさまの診療記録およびカンファレンス記録から集めた情報は、東京科学大学にて研究実施責任者が保管し、厳重に管理致します。

以上の点につきまして御不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせ下さい。宜しくお願い致します。

○お問い合わせ：東京科学大学大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野

戸原 玄 山口浩平 今田良子 松原ちあき

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45、

連絡先 03-5803-5750 対応可能時間帯 平日 9:00～17:00

○苦情窓口：東京科学大学研究推進部研究基盤推進課生命倫理グループ

連絡先 03-5803-4547 対応可能時間帯 平日 9:00～17:00